



令和7年11月28日（金）発行（文責：松原秀敏）

## SCAに関わっていただいているすべての皆様へ

本校生徒たちにとって、SCAが家・学校に続く、第3の居場所になってきたように感じています。SCAに関わる皆様が、それぞれの役割やお立場の中で、生徒たちを支えてくださることに感謝申し上げます。

本校の教育活動もSCA活動も、生徒たちの幸せを実現するという願いのもとで行われており、どちらも地続きのステージであると思っています。本校の教育目標は、「生涯にわたって価値ある生き方を選択できる生徒の育成」です。「選択」の力を高めるには、生徒たちの自主性を発揮できる場が必要です。中学校に入学した生徒たちは、自分の好きや憧れをもってSCAを選択します。自ら選んだSCAですから、生徒一人一人の自主性が大いに発揮されることを期待しています。ただ、成長過程の中学生ですから、それが自主性を発揮することで、トラブルが生じたり、活動がまとまらなくなったりする場面が出てくるかもしれません。しかし、SCAは、共通の好きや憧れをもった仲間同士の活動です。互いを認め合い、「対話」を通して、誰もが納得できる“納得解”を導くという経験をしてほしいと願っています。

「とよた地域クラブ活動ガイドライン」（令和8年9月施行）では、「参加者の自主性を尊重した活動となるよう、勝利至上主義的・結果優先的な考え方でなく、参加者の状況に応じた目的・目標を設定する」とあります。参加者である生徒たちの自主性を尊重するため、これからも生徒たちの声に耳を傾けてください。私は、SCAを通して、生徒たちが大人に自分の考えを伝える機会を増やしたいと願っています。「こんなふうに教えてほしいです」、「この教え方は変えてほしいです」など、生徒たちのわがままだと感じるような主張があるかもしれません。そんなときは、大人の考えを生徒たちに伝え、生徒たちに考えさせ、生徒たちの話に耳を傾けてください。話を聞いてくれる大人の存在によって、生涯にわたって価値ある生き方を「選択」できる生徒へと成長していくと考えます。

「SCAのいちばんの魅力は、自分たちが『主体』となって運営しているところです！」そんな言葉が、生徒たちから聞かれることを願っています。SCA関係者の皆様、大人みんなで力を合わせて、生徒たちの健やかな成長を支えていきましょう。

これからもよろしくお願ひいたします。

崇化館中学校長 松原秀敏